

## 立法府 迷走を問う 「道路」民主案丸のみを

—— 民主党の小沢代表と長年政治活動を共にしてきた。日銀総裁人事にどう関与したのか。

「私は三重野康・元日銀総裁と親しい。三重野さんは、日銀の独立性を強く求めていた。1月18日に小沢さんに三重野さんの考えを伝えた。小沢さんは『分かった』とだけ答えた」

—— 福田首相に対して、「武藤敏郎日銀総裁」案の内諾を与えたとされる民主党の「重鎮」はあなたか。

「私のことだという人がいるが、絶対にない。重鎮発言が本当にあったかどうか分からない」

—— 鳩山幹事長は、小沢氏が武藤総裁案に同意する可能性があったとの見方を示している。

「幹事長が公に発言されていることだから、正しいことを言われているのだと思う。私自身は、小沢さんから、具体名を聞いたことはない。小沢さんは党幹部にも、名前を挙げたことはないはずだ」

—— 道路特定財源を一般財源化するなどの首相の新提案をどうみるか。

「一般財源化は一つの進歩だ。疑問に思うのは、与党との関係で本当に大丈夫なのかということだ。閣議決定もしていない」

—— 合意は困難か。

「（暫定税率を廃止するなどの）民主党案を丸のみしてもらうしかない。道路問題は、国の姿にかかわる問題なので譲れない」

—— ねじれ国会で政治が停滞している状況を国民は我慢するしかないのか。

「国会で法案が何も通らないというのは嘘だ。国民生活にかかわる法律は、こちらも妥協して成立している。道路など国の姿にかかわる法案だけが対立点として残っている。それは選挙で決着をつけるしかない」

—— 衆院選で野党が過半数を獲得できず、ねじれが続く可能性がある。

「与党は 3 分の 2 の議席を失うのだから、与野党が話し合うのだから、与野党が話し合う機会が多くなる。小選挙区制の下で政界再編は簡単に起こらない。濃密な政策協議をやるしかない」